記者発表資料

令 和 6 年 6 月 2 6 日
国土交通省東北地方整備局

「少雨によりダム貯水率が低下」の訂正とお詫び

令和 6 年 6 月 25 日付け記者発表させて頂きました「少雨によりダム貯水率が低下」について、少雨の影響により平年と比べ貯水率が低くなっているダム数に誤りがありましたので、別紙のとおり訂正させて頂きます。

関係者及び報道機関の皆様には、大変ご迷惑をおかけしましたことを深くお詫び申し上げます。

1．令和 6 年 6 月 25 日付け記者発表の訂正内容

1）東北地方の直轄管理ダム貯水率（別紙２）

・少雨の影響により平年と比べ貯水率が低くなってるダム数 (誤)7 ダム → (正)8 ダム

2）訂正後の記者発表は、別紙をご覧ください。

＜発表記者会＞ 青森県政記者会、岩手県政記者クラブ、宮城県政記者会、
秋田県政記者会、山形県政記者クラブ、福島県政記者クラブ、
東北電力記者会、東北建設専門紙記者会

[本件に対するお問い合わせ先]
国土交通省 東北地方整備局 河川部 河川環境課
課 長 大平（おおだいら） 知秀（ともひで）（内線３６５１）
課長補佐 菊地（きくち） 純（じゅん）（内線３６５６）
仙台市青葉区本町３－３－１ 仙台合同庁舎 B 棟
TEL 022-225-2171（代） FAX 022-215-3754

記者発表資料

別　紙
※訂正後の記者発表

赤字：訂正箇所

令 和 6 年 6 月 25 日
国土交通省東北地方整備局

少雨によりダム貯水率が低下
ー東北地方整備局管内の渇水対応ー

東北地方の今年の冬の少雪、4 月から 6 月の少雨の影響により、一部のダムで貯水率が低下しています。

直轄管理ダムの近傍地点における 4 月から 6 月（24 日まで）の降水量は、多いところで 123 ㎜、少ないところで 29.5 ㎜でした。

管内の 18 ダムの内 17 ダムでかんがい用水の供給を行っていますが、貯水率は、少雨の影響により、8 ダムで平年と比べ低くなっています。

ダム貯水率の低下、河川流量の減少により、3 支部で渇水対策支部（注意体制）を設置しています。

なお、東北地方整備局では渇水対策本部（注意体制）を 3 月 14 日に設置済みです。

1．東北地方の気温・降水量（別紙 1 参照）※出典：気象庁 HP より

○4 月 26 日から 6 月 24 日までの気温 60 日間平均では、ほとんどの地点で平年差が＋1.5℃以上

○4 月 26 日から 6 月 24 日までの降水量 60 日間合計では、ほとんどの地点で平年より少ない状況

○直轄管理ダムの近傍地点における 4 月から 6 月（24 日まで）の降水量は、多いところで 123 ㎜、少ないところで 29.5 ㎜

2．東北地方の直轄管理ダム貯水率（別紙 2 参照）

○ダム貯水率（利水容量）は、少雨等の影響により 8 ダムで平年と比べ低くなっています。

3．鳴子、胆沢、白川、長井ダム運用状況（別紙 3 参照）

○今後雨が降らなかった場合は、ダム完成後最も厳しい渇水となり、かんがい用水などの補給ができなくなる可能性があるため、気象状況等を注視し、渇水情報連絡会などで関係機関との情報交換や連携強化を図り、ダム運用を行います。

4．北上川水系（下流）江合川における対応（別紙 4 参照）

○5/23 渇水対策支部（注意体制）を設置後、関係機関と連携を密にし対応しています。

5．名取川水系広瀬川における対応（別紙 5 参照）

○6/13 渇水対策支部（注意体制）を設置後、広瀬川の巡視を強化し、河川状況の把握及び関係機関と連携を密にし対応しています。

6．農業用ダム貯水率（別紙 6 参照）

○農業用ダム（東北農政局所管）の貯水率は、平年の約 84%（6/15 現在）

7．向こう 3 か月の天候の見通し（別紙 7 参照）※出典：気象庁 HP より

○向こう 3 か月（7 月～9 月）の天候の見通しは、気温は高く、降水量はほぼ平年並の見込み

【参考】

・令和 6 年 3 月 12 日記者発表「今冬の少雪傾向を踏まえ渇水対策本部(注意体制)を設置します」
https://www.thr.mlit.go.jp/bumon/kisya/kisyah/images/98404_1.pdf

・令和６年４月24日記者発表「平年より３週間程度早く雪解け」
https://www.thr.mlit.go.jp/Bumon/kisya/kisyah/images/98819_1.pdf
・令和６年５月27日記者発表「鳴子ダムの貯水率低下により江合川で注意体制設置」
https://www.thr.mlit.go.jp/bumon/kisya/kisyah/images/99459_1.pdf

＜発表記者会＞青森県政記者会、岩手県政記者クラブ、宮城県政記者会、
秋田県政記者会、山形県政記者クラブ、福島県政記者クラブ、
東北電力記者会、東北建設専門紙記者会

[本件に対するお問い合わせ先]
国土交通省 東北地方整備局 河川部 河川環境課
課長 大平（おおだいら） 知秀（ともひで）（内線３６５１）
課長補佐 菊地（きくち） 純（じゅん）（内線３６５６）
仙台市青葉区本町３－３－１ 仙台合同庁舎Ｂ棟
TEL 022-225-2171（代） FAX 022-215-3754

東北地方の直轄管理ダム貯水率（令和6年6月25日現在）

別紙２

赤枠：訂正箇所

- かんがい期がはじまり、管内の18ダムの17ダムでかんがい用水の供給を行っています
- 貯水率（利水容量）は、少雨等の影響により、８ダムで平年と比べ低くなっている

＜直轄管理ダム位置図＞



＜直轄管理ダムの貯水率＞ 赤字：平年より貯水率が低いダム

NO.	ダム名	貯水率（%） R6.6.25時点	平年値※3 6.25時点	位　置
①	浅瀬石川	43	39	青森県黒石市
②	津軽	54	70	青森県中津軽郡西目屋村
③	御所	27	24	岩手県盛岡市
④	田瀬※1	－	－	岩手県花巻市
⑤	湯田	22	20	岩手県和賀郡西和賀町
⑥	胆沢	47	86	岩手県奥州市
⑦	鳴子	35	44	宮城県大崎市
⑧	釜房	57	57	宮城県柴田郡川崎町
⑨	七ヶ宿	80	86	宮城県刈田郡七ヶ宿町
⑩	玉川	93	99	秋田県仙北市
⑪	森吉山	76	96	秋田県北秋田市
⑫	寒河江	100	98	山形県西村山郡西川町
⑬	白川	91	86	山形県西置賜郡飯豊町
⑭	長井	60	96	山形県長井市
⑮	月山	100	94	山形県鶴岡市
⑯	三春	100	99	福島県田村郡三春町
⑰	摺上川	89	92	福島県福島市
	四十四田※2	12	8	岩手県盛岡市

下線は洪水期 ※4

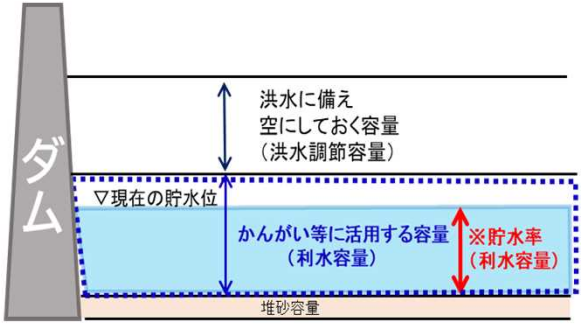
※1　田瀬ダムの非洪水期の利水容量は、発電の使用可能容量で決定されるため、非表示とした。
※2　四十四田ダムはかんがい用水補給なし。
※3　平年値は直近5ヶ年平均（R1～R5）
※4　洪水期となったダムは9ダム（月山、三春、摺上川、七ヶ宿、玉川、森吉山、寒河江、白川、長井）
非洪水期と洪水期で貯水池運用が変わり利水容量が少なくなります。
これに伴い、洪水期となったダムの貯水率の計算は分母となる利水容量を変更し計算しています。

⇒白川ダムを例とした説明資料が次ページにございます。

直轄管理ダムの貯水率情報（1週間毎に更新）
https://www.thr.mlit.go.jp/bumon/b00037/k00290/river-hp/kasen/damu/chosuiritsu.pdf

東北リアルタイムダム情報（川の防災情報より）
https://www.thr.mlit.go.jp/bumon/b00037/k00290/river-hp/kasen/damu/touhokurealtimedamu.pdf

＜貯水率とは＞



※貯水率とは
貯水率（%）＝貯水量（現在）／利水容量
貯水率100（%）で満杯

＜期間に応じて利水容量が変わる＞

非洪水期と洪水期で**利水容量が変化**します。

